

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第44週	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減										
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	2407 0.49	3 0.06	6 0.13	▲	3 0.15	6 0.30	▲										11428
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	3033 0.96	28 0.93	27 0.90	▼	12 0.92	12 0.92		1 0.33		▽	8 1.33	14 2.33	△	7 0.88	1 0.13	▽	1680
咽頭結膜熱	1621 0.51	67 2.23	58 1.93	▼	31 ◎2.38	35 ◎2.69	△				34 ◎5.67	22 ◎3.67	▽	2 0.25	1 0.13	▽	1062
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5940 1.88	122 4.07	130 4.33	▲	66 5.08	70 5.38	▲				38 ◎6.33	47 ◎7.83	△	18 2.25	13 1.63	▽	6136
感染性胃腸炎	10937 3.47	82 2.73	119 3.97	△	50 3.85	77 5.92	△	4 1.33	3 1.00	▽	16 2.67	23 3.83	△	12 1.50	16 2.00	▲	6147
水痘	1469 0.47	21 0.70	18 0.60	▽	6 0.46	7 0.54	▲	2 0.67		▽	10 1.67	7 1.17	▽	3 0.38	4 0.50	▲	555
手足口病	5126 1.62	74 ◎2.47	75 ◎2.50	△	8 0.62	17 1.31	△	23 ◎7.67	10 ◎3.33	▽	26 ◎4.33	21 ◎3.50	▽	17 2.13	27 3.38	▲	3523
伝染性紅斑	173 0.05	10 0.33	19 0.63	△	2 0.15		▽	1 0.33		▽	6 ◎1.00	19 ◎3.17	△	1 0.13		▽	654
突発性発しん	1259 0.40	15 0.50	15 0.50		4 0.31	6 0.46	△	1 0.33	1 0.33		6 1.00	5 0.83	▼	4 0.50	3 0.38	▼	835
百日咳	50 0.02																24
ヘルパンギーナ	967 0.31	14 0.47	11 0.37	▽	8 0.62	8 0.62			1 0.33	△	1 0.17		▽	5 0.63	2 0.25	▼	1257
流行性耳下腺炎	899 0.28	6 0.20	14 0.47	△	2 0.15	6 0.46	△				4 0.67	8 1.33	▲				577
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	8 0.01																
流行性角結膜炎	484 0.70	8 1.00	2 0.25	▽	6 1.50	1 0.25	▽				2 2.00	1 1.00	▽				165
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4 0.01	1 0.10		▼	1 0.25		▼										82
クラミジア肺炎	5 0.01																
マイコプラズマ肺炎	185 0.39	6 0.60	11 1.10	△	2 0.50	6 1.50	△	1 1.00	3 3.00	△				3 1.00	2 0.67	▽	206
細菌性髄膜炎	9 0.02																5
無菌性髄膜炎	11 0.02																8

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	2				
	無症状病原体保有者				1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	患者	1				
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	2				※第44週追加報告2件。 肺炎球菌ワクチン接種歴:4回 2件。
梅毒	患者			1		※第44週追加報告分。

<通信欄>

※第45週に報告されたインフルエンザの迅速キットによる型別は、A型:6件です。
 ※トピックスで、手足口病、咽頭結膜熱について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ					1		2	1	1						1
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
															6
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	3	3	11	6	3	1									27
咽頭結膜熱		4	16	8	8	9	6	2		2		2		1	58
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	11	13	14	19	16	14	13	8	13	1	4	130
感染性胃腸炎		5	20	24	17	17	6	7	5	6	1	8		3	119
水痘					1	3	3		2	4	4	1			18
手足口病	1	1	25	18	7	7	6	2	3	2	1	2			75
伝染性紅斑				6		5	2	1	2	3					19
突発性発しん		4	8	1	1			1							15
百日咳															
ヘルパンギーナ		2	4	1	1	2				1					11
流行性耳下腺炎				1	2	3	4		1	2	1				14

< 平成29年9月 月報 >

2017年10月25日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～9月	
	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	24	14	9	6	10	4	1	2	4	2	164
	定点当り	2.40	1.40	2.25	1.50	10.00	4.00	0.50	1.00	1.33	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	5	7	2	2			1	2	2	3	56
	定点当り	0.50	0.70	0.50	0.50			0.50	1.00	0.67	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数	4	2	2	1					2	1	16
	定点当り	0.40	0.20	0.50	0.25					0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数	3	1	1				1		2		31
	定点当り	0.30	0.10	0.25				0.50		0.67		
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	7	6	1		1		1		5	5	59
	定点当り	0.70	0.60	0.25		1.00		0.50		1.67	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	21	27	11	16	1	2		3	9	6	192
	定点当り	2.10	2.70	2.75	4.00	1.00	2.00		1.50	3.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											2
	定点当り											

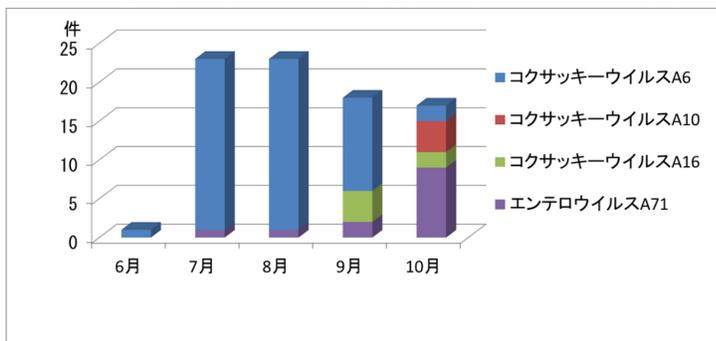
< トピックス >

【手足口病情報】

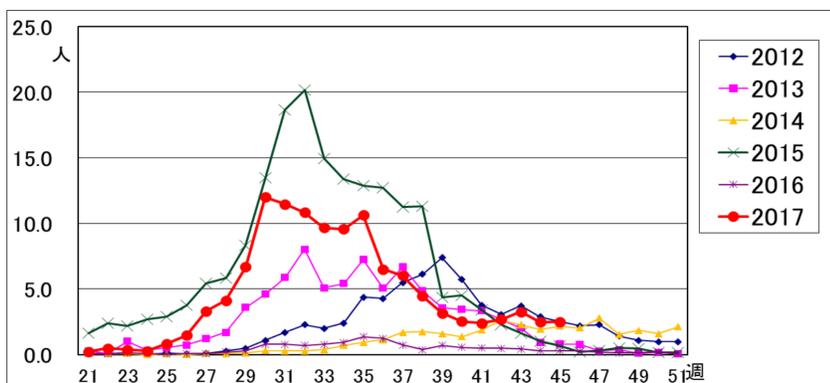
手足口病の定点当たり報告数が、最上地区、置賜地区で警報レベルとなっています。

- ・手足口病
警報開始基準値：5人 警報終息基準値：2人
- ・第45週 定点当たり報告数（山形県：2.5人）
村山地区 1.3人、最上地区 3.3人、置賜地区 3.5人、庄内地区3.4人

1. ウイルス分離・検出状況：山形県衛生研究所(11月8日現在)



2. 定点あたり報告数の推移(山形県)

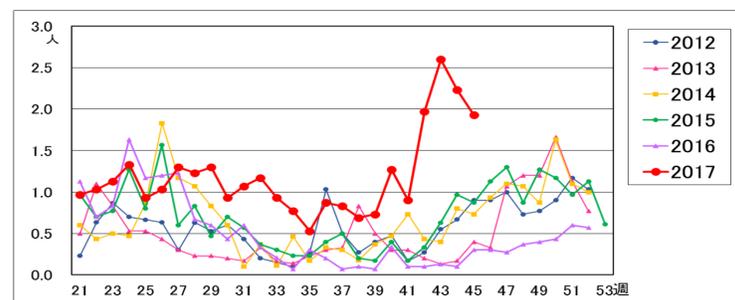


【咽頭結膜熱情報】

咽頭結膜熱の定点当たり報告数が、村山地区、置賜地区で警報レベルとなっています。

- ・咽頭結膜熱
警報開始基準値：3人 警報終息基準値：1人
- ・第45週 定点当たり報告数（山形県：1.9人）
村山地区 2.7人、最上地区 0.0人、置賜地区 3.7人、庄内地区 0.1人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



咽頭結膜熱とは

咽頭結膜熱は発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症です。通常夏期に地域全体で流行し、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月にピークとなります。プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれます。

【症状】発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、喉の痛み、結膜の充血、眼痛などを訴え、3～5日間程度持続します。眼に永続的な障害を残すことはありません。

【予防法】感染者との密接な接触を避け、うがいや手洗いをしっかりとすることが大切です。